



外国人のお客様も受け入れてみませんか 「やさしい日本語」をつかってみよう

浜松市には23,000人超の外国人が暮らしています。滞在年数が5年を超える人も少なくありません。彼らは普段、日本語を使って生活をしています。日常会話程度ならば、案外日本語でコミュニケーションできるのです。今回は「外国人と話すための“やさしい日本語”」について、すでに街ぐるみで取組を実施している福岡県柳川市の事例紹介をします。そしていっしょに、「外国人に日本語で伝えるコト、伝わるコト」を体感してみてください。外国人の顧客が増えると、もっと楽しい世界が広がるかもしれません♪

日本にいても外国の人に会うことが、多くなりました。日本人は、「外国人は英語を話す」と思いますが、日本で外国の人と話すとき、いちばん伝わるのは、日本語です。

英語でなくていいんです。

日本のあちこちで、こどもからおとしよりまで、日本人と外国人が気持ちを通わせる。それが「やさしい日本語」のゆめです。

(出典：やさしい日本語ツーリズム研究会)



日時 2018年8月4日(土) 午後2:00～4:00

場所 浜松市市民協働センター (浜松市中区中央一丁目13-3)

※専用駐車場がございません。公共交通機関または近隣の駐車場をご利用ください。

参加費 無料 定員 50名

申込 filipinonagkaija@yahoo.co.jp ※「氏名」「ご連絡先」「8/4参加希望」をお伝えください。

【講師紹介】



吉開 章氏 株式会社電通、やさしい日本語ツーリズム研究会事務局長
株式会社電通勤務のかたわら2010年日本語教育能力検定試験に合格。
日本語教師有資格者によるFacebook上の日本語学習支援コミュニティ「The
日本語 Learning Community」を主宰。ネット上の自律学習に詳しい。また
2016年「やさしい日本語ツーリズム研究会」を立ち上げ、故郷の福岡県柳川
市で外国人を「やさしい日本語」でおもてなしするという企画を実施中。「やさ
しい日本語」に関する講演、メディア掲載多数。